

一般（代表）質問通告一覧表

令和5年第2回笠岡市議会定例会

3月6日・7日（2日間）

通告者	質問事項	質問の要旨	答弁者
1 讃志会 山本 聡	1 産業振興ビジョンの改定に当たって	<p>第7次笠岡市総合計画の基本戦略「稼ぐ」とうたう経営戦略の“羅針盤”として2014年3月に策定され、産業振興ビジョンは2018年の改定を経て2023年度までの5年間で「仕事生まれ育つまち笠岡」を標榜し、豊かなまちづくりを目指してきました。ただ一方で、近年の経済を取り巻く環境の大きな動向、すなわち「人手不足」「後継者難」「労働生産性の伸び悩み」「働き方改革」、止まらない「人口減少」「少子高齢化」等の問題、課題や「進化する情報通信技術」や「インバウンドの拡大」に対し、有効な対応が求められています。3年に及ぶパンデミックがもたらした非日常、地政学的リスクによる食料危機やエネルギー危機など、こうした大きな環境変化にどう対応し、自らの地域をいかに持続可能な社会へと導いていけばよいか真価が問われようとしています。「実効性」「継続性」をポイントとした産業振興施策の取組について尋ねます。</p> <p>(1) 企業誘致(外発的産業振興)</p> <p>(ア) 新しい工業用地の確保、整備</p> <p>(イ) 企業誘致の推進</p> <p>(ウ) 誘致企業への支援</p> <p>(2) 地元中小企業振興・企業支援</p> <p>(ア) 経営安定化に向けた支援</p> <p>(イ) 地域一体の新事業創出・事業承継サポート</p> <p>(ウ) 販路開拓サポート体制の強化</p> <p>(エ) 新しいビジネス機会の創出</p> <p>(オ) 商店街の振興</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

		<p>(カ) 「かさおかブランド」の充実，創出</p> <p>(キ) 企業の魅力発信</p> <p>(ク) 人材の確保，育成</p> <p>(3) 観光振興(交流による経済活性化)</p> <p>(ア) 観光客の拡大につなげる観光メニューとブランド化</p> <p>(イ) 観光客受入れ体制の整備</p> <p>(ウ) 効果的な情報発信</p> <p>(エ) 各種イベント等を通じた賑わいの創出</p> <p>(オ) 地域資源への誇り・愛着の醸成と地域ごとの魅力開発</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	2 地域公共交通の在り方について	<p>高齢化が加速化し，健康寿命は延伸していますが，老齢による運転免許証の返納の増加も見込まれます。</p> <p>今までの日常を確保し，安心した暮らしを維持するためにも，公共交通機関(バス等)の利活用を含め，新しい公共交通システムが求められています。</p> <p>地域公共交通計画の見直しについてお尋ねします。</p> <p>(1) バス運行について</p> <p>(ルート，停留所，ダイヤ，運賃)</p> <p>(2) 島しょ部における移動手段の充実について(運賃補填，定期便増便，航路維持)</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	3 駅(笠岡駅)を中心とした地域活性化における関係人口の創出について	<p>笠岡駅のリニューアルをきっかけとして，分断されていた南北の一体化が見込まれ，街の往来を活性化する新しいコンテンツが必要とされています。また，これに伴う人の往来も予想されます。</p> <p>J R 西日本岡山支社との取組による駅舎(連絡施設)の仕様や周辺の商業施設との連携，笠岡の「地域価値」の実現のための，駅という場所を中心とした地域活性化にいかに取り組むかお尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>

		<p>(1) 駅前商店街(東西本町等)との連携について</p> <p>(2) 若年層(通学の大学生, 高校生)への訴求について</p> <p>(3) 観光イベントとの連携について</p> <p>(4) サイクリストのアメニティー設置など (駅舎内の歩車融合/自転車を押して渡れる)</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
2 公明党 齋藤 一信	1 物価高騰対策について	<p>昨年12月の全国消費者物価指数(生鮮食品を除く)が前年同月比で4%上昇するなど, 国民生活を直撃しています。そんな中, 大阪府の枚方市など, 市独自の対策として水道代の減免を実施する市が出ています。財政的余力があるかも含め, この物価高騰を市民が乗り切るための水道代の減免実施について, 市のお考えをお示してください。併せて物価高騰策に関して, 市の独自策があればお示してください。</p>	関係部長
	2 笠岡市の少子化・人口減少について	<p>(1) コロナ禍で生まれる子供が減り, 予想よりも早いスピードで少子化が進む深刻な状況です。</p> <p>『笠岡市人口ビジョン』やその他の政策に及ぼす影響があると考えますが, 市のお考えをお示してください。</p> <p>併せて, ますます進む笠岡市の少子化・人口減少の現状と課題をお示してください。</p> <p>(2) 笠岡市議会公明党は, 「子供をもう一人産みたい」と願う子育て世代を応援するため, 0～2歳児の保育無償化の対象拡大を目指しています。</p> <p>笠岡市の0～2歳児の保育料を現行の一部助成から課税世帯も含めた子育て世帯すべてに拡大をすべきと考えますが, 市のお考えをお示してください。</p> <p>(3) 笠岡市が推進する, 三世代同居推進事業の政策評価をお示してください。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

	<p>3 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更後の対応について</p>	<p>(4) 人口減少対策としての、住宅新築助成金事業の笠岡市の政策評価をお示してください。</p> <p>(1) 政府は新型コロナウイルスの感染症の感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げる方針を打ち出しました。</p> <p>4年目を迎えるコロナ禍、社会の形は大きく変わってしまいましたが、今後、5類への引下げ後、市の方針について、以下、お尋ねします。</p> <p>(ア) 市民病院へのお見舞いはできるようになりますか。</p> <p>(イ) 火葬場での制限はどう変わりますか。</p> <p>(ウ) 様々な学校生活での対処はどう変わりますか。</p> <p>(エ) 市職員のマスク着用の対応はどうなりますか。</p>	<p>関係部長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	<p>4 高齢者福祉の充実について</p>	<p>(1) 農林水産省が、店舗まで500メートル以上かつ自動車利用困難な65歳以上人口を「食料品アクセス困難人口」と定義しています。15年の調査によると824万人も存在するという数値が出ております。高齢者の中で24.6%、4人に1人が買物難民ということになります。</p> <p>笠岡市における「食料品アクセス困難人口」の把握及び分析をされているのかも含め、現状と対策をお示してください。</p> <p>(2) 岡山県内を始め、全国的に多くの自治体が行っている買い物支援等を目的としたタクシー料金の助成事業ですが、そのほとんどが65歳以上を対象として行っている中、残念ながら笠岡市は75歳以上を対象と、他市と比較し、その恩恵を受ける対象者が限られているのが現状です。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>

		<p>現行の制度での一人平均年間約1万円の利用実績からすると、十分予算的に現行の制度を維持しつつ、本市も対象年齢の拡充及びより広い買い物支援、高齢者に外出を促す支援の充実を図ることは可能と考えますが、市のお考えをお示してください。</p> <p>(3) 現在の市営相生墓園は参道が砂利道のため、亡き家族や親族、友人に会うため、墓参りしたくても高齢者にとって大変に歩きにくく危険です。ましてや、車いすでは、補助する身内がいたとしてもお墓にたどり着くことすら困難です。</p> <p>親族が集まり法事後、新調した革靴でお墓参りに行くと、砂利で靴が傷付いてしまったなど、届けられる声は様々です。</p> <p>そういった声を聞くにつけ、1,000件を超える契約者が安心してお墓参りできる環境整備をすべきと考えます。市のお考えをお示してください。</p> <p>(4) JR笠岡駅のみどりの窓口の営業終了に伴い、高齢者が駅で困惑したという声が届きました。みどりの券売機プラスの利用方法を情報発信するなど、市がJR笠岡駅と連携し、サポートできないでしょうか。</p> <p>お考えをお尋ねします。</p>	<p>関係部長</p> <p>”</p>
<p>3 改革21 藤井 義明</p>	<p>1 施設一体型 小中一貫教育 について</p> <p>2 浴場併設の 温水プール建 設について</p>	<p>金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育学校開設に当たって、整備検討委員会で議論されている新校舎建設地はいかなる場所か尋ねる。</p> <p>運動公園にプールの建設計画があるが、①市民の健康づくり②子供たちの体力づくり及び交流③市民生活の満足度の向上④医療・介護費用等行政への負担軽減④障害のある人、治療中の方のリハビリ等の目的のため、浴場・サウナ等併設の温水プールを建設してはどうか尋ねる。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p>

	3 行政協力委員・まちづくり協議会制度について	<p>(1) 行政協力委員は、規則により任務が規定されているが、それら代表者の身分・責務等の規定がなく、現状では行政協力委員は私人または有償ボランティア扱いと考えるが、お考えを尋ねる。</p> <p>(2) 市民の困りごと等相談をするに当たり、行政協力委員またはまちづくり協議会委員のどちらにすべきか分かりにくい等の問題が起きている。現状をどう捉えているのか尋ねる。</p> <p>(3) 私人または有償ボランティア扱いの行政協力委員が市行政の周知伝達を行うことはいかがか。また、守秘義務はあるのか尋ねる。</p>	市 長 " "
	4 防災計画について	<p>(1) 市内全域の地区防災計画策定の行程表を尋ねる。</p> <p>(2) 市内全域の要支援者の個別避難計画が作成されている地区及び今後の策定地区の行程表を尋ねる。</p> <p>(3) 登録・届出避難所制度についての考えを尋ねる。</p> <p>(4) 自主防災組織活動に対する資機材の支給について、令和4年度に変更された理由を尋ねる。</p>	関係部長 " " "
4 創政みらい 大月 隆司	1 令和5年度 予算について	<p>新型コロナウイルス感染症が猛威を振るって3年が経過する。やっと終息の兆しが見えだしてきた。</p> <p>しかし、まだまだ社会生活では大きな不安が残っている。また、ロシアによるウクライナ侵攻、円安による物価高・原油高の影響は生活に大きな影響を与えている。</p> <p>以下、令和5年度予算について尋ねる。</p> <p>(1) 3月13日からマスク着用は個人の判断となり、5月には新型コロナウイルス感染症</p>	市 長

		<p>は2類から5類に移行する予定となっている。予算編成にどのように影響・反映しているのか、アフターコロナ・ウィズコロナに十分対応しているのか尋ねる。</p> <p>(2) 物価高対策について、どのように配慮した予算となっているのか尋ねる。</p> <p>(3) 予算編成方針では、非効率・低効果の事業を積極的に廃止するとされている。どのような事業を廃止したのか尋ねる。</p> <p>(4) ふるさと納税制度の今後の運営について尋ねる。</p>	<p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	2 今後の土地利用の方針について	<p>山陽自動車道篠坂スマートICの開設、国道2号玉島笠岡バイパスの開通、笠岡駅南口設置等、新しいインフラが整備され人や物の流れが変わることとなる。これに併せて土地利用も変わってくることと考える。当然、今までの需要とは異なった土地の利用が求められ、施策として誘導もしくは規制が必要となってくる。笠岡市としての方針とそれに基づく具体的な対応策について尋ねる。</p>	市長
	3 笠岡市の教育の方向について	<p>現在、小中一貫教育を始めとする大きな制度改正を進めている。今後、小中学校の統廃合が進んでいくことと考えられる。また、教育長の考えには、義務教育学校の設置まで言及をしている。笠岡市にとってどのような教育が望ましいのか、望まれているのか考えを尋ねる。</p>	教育長
	4 防災・減災の今後の取組について	<p>今年の4月から地域防災マネージャーの採用が決定していると仄聞する。防災力の向上に期待しているところである。地域防災マネージャーの採用によって笠岡市の危機管理体制や防災力・減災力の強化にどのように役立てるのか、新しい取組について具体的な考えを尋ねる</p>	関係部長